

戦評用紙

大会名	令和3年度 第72回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2021年6月6日14:15～	区分	高体連
----	-----------------	----	-----

チームA				チームB
羽黒高等学校				米沢中央高等学校
78	20	1Q	18	103
	16	2Q	28	
	21	3Q	23	
	21	4Q	34	
		延長		

【戦評】

決勝戦は、1月に行われた山形県新人大会決勝と同じ、羽黒と米沢中央(以下、米中)の一戦となった。スターティングメンバーは、羽黒 #2、#10、#17、#24、#45 米中 #5、#12、#13、#21、#43

1P 羽黒はマンツーマン、米中は2-2-1から2-3のゾーンディフェンスでスタート。出だしは羽黒#24の連続3P、米中#5の積極的な1対1を中心に、お互い思い切りのいいシュートで得点を重ねる。5分33秒、羽黒#2と#17の主力2名のファールが2個となり、たまたま羽黒がタイムアウト。タイムアウト後は3-2のゾーンディフェンスで羽黒が仕掛ける。ここでリズムを取り戻した羽黒が#20-18のリードで1P終了。

2P 1Pの流れを打破したい米中はディフェンスをマンツーマンに切り替え、#5、#12、#21を中心に速い切り替えからの得点を狙う。一方、羽黒は身長差を生かしたリバウンドからのセカンドチャンスで得点を重ね、主導権を握らせない。2P序盤、羽黒#54が空中で躍動、リバウンドを量産する。羽黒のリードが5点に開いたところで米中がすかさずタイムアウト。米中はディフェンスをまたゾーンに戻し、そのゾーンが効果的に機能する。これまでアウトサイドを起点にしていた米中だったが、ここで#13の待望のゴール下でのポイント。流れが変わり、米中は#5を中心に外中バランスよく得点を伸ばし、逆転に成功。最後には米中#5が3Pのブザービーターを決め、36-46の米中10点リードで前半を終える。

3P 運命の後半戦。2分38秒、米中#13が味方との接触によりケガでベンチに退く。サイズダウンした米中に対し、流れを引き寄せたい羽黒は#2のドライブ、#17のペネトレイトで着実に得点を重ね点差を縮める。一時は流れを掴みかけた羽黒だったが、米中も冷静にオフェンスを組み立て流れを渡さない。中盤、米中#13がコートに復活し、リバウンドから渾身のタップシュート。流れはまた米中に。終盤、交代して出場した米中#22が値千金の3Pを決める。羽黒#10も3Pで返すも、粘り強いディフェンスとリバウンドで流れを渡さなかった。

4P 米中の勢いは止まらない。1分2秒、ブレイクからの米中#5のドライブに対し、羽黒#17が4つ目のファール。米中の速い展開のオフェンスが続く中、3分46秒、米中#5の連続1対1、ブレイクにより点差が16点差になったところで羽黒はたまたまタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず、米中が相手のターンオーバーを誘い、点差は20点に。4分25秒、羽黒は二度目のタイムアウトを使う。5分8秒、リバウンド時の接触により羽黒#17痛恨の5ファール。米中の勢いはさらに加速する。終盤は羽黒のシュートがなかなか決まらず、一方でリバウンドからの速攻を仕掛ける米中は声を出し続け、集中を切らさなかった。40分間、自分たちのスタイルを貫き、戦い続けた米中が悲願の初優勝を掴んだ。

戦評者 福岡 傑、廣瀬 辰平